

2014.
12.19(Fri) ▶ 23(Tue)

会場= **東京芸術劇場**
アトリエウエスト
(地下1階)

紛争地域から 生まれた 演劇

第一次世界大戦から**100年**

◆リーディング

燃えるスタアのバラッド UK/イスラエル

作 ▶ ニル・バルディ Nir Paldi

訳 ▶ 角田美知代 演出 ▶ 大谷賢治郎

昨年のエディンバラ・フリンジフェスティバルで大賞受賞、
多国籍劇団によるパレスチナ紛争を題材とした作品。

◆リーディング

ブルカヴァガンザ パキスタン

作 ▶ シャーヒド・ナディーム Shahid Nadeem

訳 ▶ 村山和之 演出 ▶ 西沢栄治

ブルカとは女性が外出時に着用するコート、あるいはヴェール、
イスラムの社会風俗を滑稽かつシニカルに描いた問題作。

◆ITI特別講座

狂人と専門家 ナイジェリア

作 ▶ ウォレ・ショインカ Wole Soyinka 訳 ▶ 粟飯原文子

アフリカ初のノーベル文学賞劇作家の戯曲、本邦初訳初紹介。
内戦時の投獄体験をもとにした不条理劇。

シリーズ

日本初訳**3**作品
リーディング&レクチャー

12.19(金) 19時
[リーディング]『燃えるスタアのバラッド』
[トーク①]

12.20(土) 14時
[リーディング]『燃えるスタアのバラッド』
[シンポジウム①]

12.21(日) 14時
[ITI講座]『狂人と専門家』
[シンポジウム②]

12.22(月) 19時
[リーディング]『ブルカヴァガンザ』
[トーク②]

12.23(火) 祝 14時
[リーディング]『ブルカヴァガンザ』
[ラウンドテーブル]

紛争地域から生まれた演劇

私たちは戦争、暴力、支配を超えられるか?

第一次世界大戦から100年

2014. 12.19 (Fri) ▶ 23 (Tue)

東京芸術劇場
アトリエウエスト
(地下1階)

東京
芸術
劇場

〒171-0021 東京都豊島区西池袋1-8-1
TEL: 03-5391-2111
＜アクセス＞ JR、東武東上線、池袋駅西口より徒歩2分。池袋駅地下通道の2b出口で直結しています。



◆リーディング

燃えるスタアのバラッド

Ballad of the Burning Star

UK/ イスラエル

作▶ニル・パルディ Nir Paldi 訳▶角田美知代 演出▶大谷賢治郎 (company ma)

出演▶板津未来、尾川詩帆、小山萌子 (エンパシ)、佐原由美 (流山児★事務所)

土井真波 (劇団鋼鋳)、古舘一也 (company ma)

演奏▶鈴木正人

【作品解説】ロンドンを拠点とする多国籍劇団 Theatre Ad Infinitum によって製作され、昨年のエディンバラ・フリンジフェスティバルで大賞受賞、現在、英国ツアー中の作品。劇団はパリのジャック・ルコック国際演劇学校の卒業生たちによって結成されたフィジカルシアターを基本とする団体である。この作品の作・演出・主演の Nir Paldi はイスラエル出身、パレスチナ問題を同時に「イスラエル問題」としてとらえ、紛争と占領がイスラエル人の心理にどのような影響と分裂を引き起こしているかを「キャバレースタイル」を使って描き出している。

◆リーディング

ブルカヴァガンザ

パキスタン

Burqavaganza

作▶シャーヒド・ナディーム Shahid Nadeem 訳▶村山和之 演出▶西沢栄治

出演▶明樹由佳、円城寺あや、加藤明美、小暮美幸 (劇団だるま座)、大美穂、村井雄 (開幕ペナントレース)

【作品解説】ブルカとは、パキスタン・アフガニスタンの女性が外出時に着用する全身を隠すコートまたはヴェールを意味する。『ブルカヴァガンザ』はパキスタンの近未来における「ブルカ強制時代」を設定し、若いカップルを通じて社会的風俗を滑稽かつシニカルに描いたものである。本作はパキスタンを代表する劇団の一つアジューカー劇場で 2007年3月に上演、4月に上演禁止争議が起きた作品。同年5月再演の後、現在まで上演が続けられている。作家のシャーヒド・ナディームによると「ブルカは今や超保守的イデオロギーの象徴となっている。このイデオロギーは、西洋世界への抵抗、女性の人権の否定、そして退化した政治意識しかもたぬ過激主義者たちを支持するものなのだ。」

◆ITI特別講座

狂人と専門家

ナイジェリア

Madmen and Specialists

作▶ウォレ・ショインカ Wole Soyinka 訳▶栗飯原文子 演出▶新井純

【作品解説】ウォレ・ショインカはナイジェリア出身の作家。1986年、アフリカ初となるノーベル文学賞を受賞。1934年生まれ、ナイジェリアとイギリスの大学で文学を学び、1950年代後半にはロンドンのロイヤル・コート劇場に勤務。このころより次々と戯曲作品を発表していく。『狂人と専門家』は、ナイジェリア内戦 (ピアフラ戦争、1967-70年) の最中に投獄された経験をもとに書かれた作品。1970年、アメリカで初上演。戦争を遠景に、権力欲にのまれ、悪に手を染めた医師を主人公に据え、人間性を奪う戦争の狂気を不条理劇の手法で描いている。

日本初訳3作品
リーディング&レクチャー

P R O G R A M

12.19 (金) 19時

【リーディング】『燃えるスタアのバラッド』

【トーク①】ゲスト▶ニル・パルディ (Theatre Ad Infinitum)

(終演後) 細田和江 (イスラエル文学・文化、中央大学)

12.20 (土) 14時

【リーディング】『燃えるスタアのバラッド』

【シンポジウム①】(終演後)

1914-2014と演劇~ポストコロニアルの視点から~

パネリスト▶ニル・パルディ

佐和田敬司 (翻訳家、早稲田大学教授)

吉川恵美子 (ラテンアメリカ演劇、上智大学教授)

司会▶七字英輔 (演劇評論家)

12.21 (日) 14時

【ITI 特別講座】『狂人と専門家』『ウォレ・ショインカの世界』

話と台本抜粋朗読 講師▶栗飯原文子 出演▶新井純

【シンポジウム②】(ITI 特別講座終了後)

戦争と演劇~ギリシアから 20 世紀、現代~

パネリスト▶鴻英良 (演劇批評)

西堂行人 (演劇評論家、近畿大学教授)

坂手洋二 (劇作家・演出家、燐光群主宰)

司会▶七字英輔

12.22 (月) 19時

【リーディング】『ブルカヴァガンザ』

【トーク②】(終演後)

ゲスト▶村山和之 (南・西アジア文化研究、和光大学・中央大学)

12.23 (火祝) 14時

【リーディング】『ブルカヴァガンザ』

【ラウンドテーブル】(終演後)

演出家、出演者、翻訳者一同

ゲスト▶新野守広 (立教大学教授)、宗重博之 (劇団黒テント)

料金:各回1,500円

トーク、シンポジウム、ラウンドテーブル込み。

(ITI会員は1,000円)

チケット申し込み

E-mail: ititicket@gmail.com

Tel:03-3478-2189 Fax:03-3478-7128

★氏名 (フリガナ)・日時・枚数・連絡先等を明記ください。また、FAX も可能です。

料金のお支払いは、当日受付にてお願いします。

公益社団法人 国際演劇協会日本センター Tel:03-3478-2189

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-18-1 国立能楽堂内

会期中のお問合せはこちらまで▶Tel:090-7255-0814

お問合せ

企画制作▶公益社団法人 国際演劇協会日本センター

会長▶永井多恵子

副会長▶安孫子正、吉岩正晴

事業委員長▶高萩宏

制作統括▶曾田修司

制作補佐▶佐藤武、後藤桐子

テクニカル・ディレクター▶関口裕二

上演プロデュース▶林英樹

協力 一般社団法人日本演出者協会

国際演劇評論家協会日本センター

有限会社 バランス balance,inc.

Real Heaven

チケット前売り開始 11月20日 予定

<http://iti-japan.or.jp/>